

令和6年(2024)3月8日14:00	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	学芸員 島田 和
電話	073-436-8670(博物館代表)

## 有田川町 田殿丹生神社 丹生明神・高野明神坐像の「お身代わり神像」奉納について

県立博物館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部等の教育機関の協力を得て、3Dプリンタを用いた文化財の精巧な複製を作り、文化財の防犯や防災の対策への活用を図っています。高齢化や人口減少などの要因により、管理や保全が困難になっている地域の寺社にある文化財を博物館で保管し、かつ、信仰されてきた環境を維持するための取り組みで、平成24年度から令和4年度までに、県内21か所の寺社に38体の「お身代わり仏像/神像」を安置しています(※今回奉納分を含むと22か所・40体)。

このたび、博物館でお預かりしている有田川町・田殿丹生神社の丹生明神・高野明神坐像のお身代わり神像が完成し、下記日程にて奉納することとなりましたので、お知らせします。

現地には、製作に携わった県立和歌山工業高等学校の生徒および和歌山大学教育学部ミュージアムボランティアの学生が訪れ、完成したお身代わり仏像を地域住民の代表者にお渡しし、交流を図ります。

なお、今回の奉納は、生徒が地域の方々と交流を行うことで、学びをより充実したものにするとともに、住民がお身代わり仏像を身近に感じていただく機会とすることを目的としています。

日 時	令和6年(2024)3月17日(日) 10時開始(11時頃終了予定)
場 所	田殿丹生神社(有田郡有田川町大字出335)
奉 納 像	田殿丹生神社 丹生明神・高野明神坐像の3Dプリンタで製作したお身代わり神像 2体
参 加 者	地域住民および田殿丹生神社関係者、県立和歌山工業高等学校産業デザイン科生徒・(予 定) 教員、和歌山大学教育学部ミュージアムボランティア学生
内 容	田殿丹生神社へのお身代わり神像の奉納。生徒と地区住民の交流。
連 絡 先	学芸員 島田和(073-436-8684(県立博物館学芸課))
	取材等の場合は3月14日(木)までにご連絡をお願いいたします。

### 丹生明神・高野明神坐像

田殿丹生神社蔵 木造 平安時代・12世紀

像高 丹生明神:37.4cm 高野明神:45.3cm

丹生明神と高野明神は空海を高野山へ導いた地主神として知られています。平安時代・10世紀の「丹生大明神告文」には、丹生明神が最初に庵田村石口(かつらぎ町三谷)に降り立ったあと、高野山麓の各地を巡り、「安梨諦」(有田)の「夏瀬丹生」にやってきたと書かれています。田殿丹生神社の近くに位置する、夏瀬の森のことをさすと考えられ、古くから丹生明神を祀っていた地であることが分かります。丹生明神像(女神)は髪を結び、がい襦袢衣という中国風の衣をつけています。高野明神像(男神)は巾子冠というかぶりものをして、男性貴族の装束を身にまとっています。鮮やかな彩色が良く残り、貴重です。なお、田殿丹生神社にはさらに古い、平安時代・11世紀の丹生明神と高野明神(いずれも朽損甚大)も伝来しています。



高野明神像 丹生明神像

有田川町 田殿丹生神社付近

